

## 実行計画の検証結果（2011 年度実施完了分）について

検証は、副本部長，教員の本部員 3 名（以下：評価者）が，事務改革アクションプランに掲げた取組のうち，平成 23 年度で終了した取組について，各課からの自己評価（※評価基準参照）及び書面による報告に基づき行っています。

検証結果は，担当課と評価者間で質疑応答を行い，補足説明などを経て評価者が最終的に評価したものです。

### ※評価基準

- IV・・・計画を上回って実施している
- III・・・計画を十分に実施している
- II・・・計画を十分には実施していない
- I・・・計画を実施していない

なお，平成 24 年度以降については，事務改革アクションプラン及び事務改革のための具体的な実行計画を毎年見直すこととしています。

事務改革アクションプラン2010-2011

【人事制度改革】

(2011年度(平成23年度)実施完了分)

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
人事制度改革	01-10-02	事務組織の整備・充実(専門員, 専門職員, 技術専門員の新設等)	総務課	<p>多様化, 高度化する業務に対応するため, 新たに専門員, 専門職員を新設するとともに必要とすべき課にそれぞれ配置した。また, 技術支援室設置(組織化)に伴い研究協力課に技術支援グループを新設するとともに, 将来的な技術の継承及び保存並びに技術研修に関する企画・連携機能強化を図るため技術専門員のポストを新設した。</p> <p>このことは, 組織の機能強化に留まらず, 事務職員・技術職員個々のキャリアパス形成に繋がるとともに, 人事面においても職員の能力適性に応じた異動(配置)や, 新たな大型新規事業等への対応など, 時宜に応じた柔軟な人的配置が可能となった。(H23.4)</p>	IV	IV 取組状況を確認した結果, 自己評価が妥当であると判断する。	IV 取組状況を確認した結果, 自己評価が妥当であると判断する。	IV 取組状況を確認した結果, 自己評価が妥当であると判断する。	IV 取組状況を確認した結果, 自己評価が妥当であると判断する。

**事務改革アクションプラン2010-2011**  
**【事務の簡素化・合理化】**  
(2011年度(平成23年度)実施完了分)

<総務課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	会議報告、重要案件等について、メールで課内に報告するとともに、週1回程度、係長以上の打合せを行うとともに、サイボウズ利用の徹底及び係名(グループアドレス)で発信したメールのコピー(BCC)が自動で発信したグループアドレスに送信されるよう設定し、係内の誰が誰宛に発信したか係内の誰もが把握できるよう、情報の共有化を図り、連絡漏れ等ミスの軽減に努めている。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	代議員会等定例会議における資料をサーバーアクセスにより閲覧する方法に改めたことにより、会議資料のコピー削減につながった。また、課内資料は、2UP印刷により、白黒コピーを極力心がけるなど、使用料削減を意識し、努めている。その結果、22年度に比べ、23年度は全体使用数量は約4%減らすことができた。しかしながら、外部提出資料などへの対応上、カラーコピーの比率が高まったことから、金額では4%程度上昇することとなった。(複写機使用料の事務局合計は、金額対前年度比で△5.6%であった。)	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
改善見直し	02-11-04	既存研修の整備及び研修の事前周知(年度始めにHP等利用など)による計画的な研修実施	総務課	過去からの研修の実施状況を取りまとめ、今後の研修計画(年度別)を作成した。 また、現状の一般職員の研修体系(階層別)について、取りまとめた。 年度当初に把握している当該年度の研修計画と年間研修スケジュールを事務局HPに掲載した。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<会計課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	会議資料等を課共通フォルダに保管し、常時間閲覧できるようにするなどにより、業務の効率化及び共有化に努めた。 メール送信時等に、係のアドレスを含め(Cc)送信することで、情報の共有化に努めている。 大学内外の相手先にメールを送信する際、同じ係内でこの送信内容を情報共有するためCCを利用している。これにより、業務内容の進捗状況の共通理解の促進となる他、送信者不在時における業務の停滞防止となる。 BCCは、個人情報を含む場合、機密性に注意する場合は、また送信する相手先の状況により利用する必要があるが、基本的にはCC利用するようにしている。 また、サイボウズの利用により、対応業務の共有化を図っている。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	各部局別の使用状況を、毎月事務連絡協議会にて配布し、削減への取り組みを推進した。 また、会計課内においても、この使用状況を全員に回覧し、日常業務における複写機使用の削減に係る意識向上に努めた。 しかしながら、近年、外部資金執行の証拠書類として支払決議書等のコピーの提出が増えており、23年度は、税務調査等の特別監査などにより、前年度に比べ金額で14%程度増加している。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<研究協力課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	課内ミーティングで学内会議の報告を行い、大学全体の動きを課内職員が把握できる様に情報の共有化に努めた。 会議資料や業務実施の為に情報(資料)は、事務局サーバーを活用して共有化に努め、至急案件、行事連絡についてはメールを活用した。なお、業務報告・連絡・相談は対面で行う事に努めている。 係業務及び職員のスケジュールは、サイボウズへの掲載を徹底している。 メール送信に当たっては、情報共有するためにCCを利用しており、機密性を考慮する必要など相手先の状況によりBCCを利用している。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	シンポジウム資料作成や外部資金におけるエビデンスのコピー使用が大きなウエイトを占めているが、常にコピー軽減を意識して業務に取り組んでいる。 また、ペーパーレスを推進するため、課内ミーティング・関係者打合せは電子会議を実施している。 H23年度においては、複写機の機種変更やコピー枚数の軽減から金額対前年度比で△33%となった。	Ⅲ	Ⅳ 複写機使用料(コピー)の削減については、各課の経費節減努力と業務上の事情により対前年度比で増減は減と様々であるが、当課は削減率が他課に比べ最も大きかったことこの努力を認めることとした。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<施設環境課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	メールのやり取り時には、上司及び係全体のアドレスへ同報送信するなどし、情報の共有化に努めている。 なお、基本的にはCCを利用しているが、機密性及び送信先の状況等によりBCCを使用している。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	複写機の利用に際しては、必要最低限のものとなるよう心掛け、両面印刷や2UP印刷等を極力活用し使用料の削減に努めている。 また、工事入札関係書類については、ペーパーレス化(電子入札)を行っており、複写機使用料の削減を図った結果、金額対前年度比△28%であった。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
サービス向上	05-10-04	工事・役務等経費負担区分の明確化(表の作成等)	施設環境課	高師住宅に関し、工事・役務等経費負担区分の明確化について自治会会長と協議し、「自治会にて負担していただくもの」の一覧表を作成した。 また、施設環境課施設総括係より自治会総会にて「自治会にて負担していただくもの」についての報告も行った。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<教務課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	会議情報や各個人の出張、休暇などの情報をサイボウズに掲載することの徹底や、ファイルサーバーの共通ファイルを利用し、回答が必要な情報等の集約作業や課内の共通情報を掲載し共有化を図っている。(至急を要する事項や具体的な指示が必要な事項等は、漏れが生じないように打合せなどで徹底を図っている。)	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	事務連絡協議会で提出された「複写機の使用状況」を回覧し現状を確認させるとともに、使用枚数記帳表を作成して、コピー毎にそれに記入することでコピー枚数の削減を意識させる方法に取り組んでいる。 その結果、金額対前年度比(借料除)△24%であった。 * 閲覧室設置分は、文献複写のための業務用複写機であり、これに含めていない。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-04	非常勤講師等の講義用複写機使用料(コピー)の削減についての検討	教務課	非常勤講師等使用者別に使用枚数を記録しており、コストが安価なプリンターでの出力または印刷機の使用を行っている。業務量が増加している中、複写機使用枚数は、少しずつ減少傾向になっている。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<学生課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	週1回、課内ミーティングを実施し、各種会議や係毎のスケジュール等の情報の共有化を図るとともに、報告・連絡・相談の場として活用した。 職員各自がサイボウズにスケジュールを入力し、業務情報の共有を図った。 メール発信の際には、原則としてCCを利用して関係者間で情報を共有している。BCCは、受信者の状況に応じて必要であれば利用している。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	2UP印刷や両面印刷など、常に複写機利用の可能な限りの縮減を意識するとともに、1枚あたりのコストが安価なプリンターによる資料作成を徹底した。また、紙媒体原稿の複製についてもPDF化によるプリンター出力を心がけた。 しかしながら、東海地区国立大学文化祭及び東海・北陸地区学生指導研修会両事業の当番校を務めたため、行事当日資料及び両事業に係る他大学との運営会議資料作成により複写機使用料総額が約18%増加となった。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<入試課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	定期的な課内打合せで、会議等報告、行事・業務実施の打合せ、問題点の提示などを議題とし、情報の共有化を図っている。 サイボウズを利用することで、課員のスケジュールや対応業務等の共有を図っている。 メール送信時に、係名のアドレスへもCC送信することで、情報の共有化に努めている。 BCCは、機密性に注意する場合に利用するようにしている。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	経費削減を意識し、コピー機の使用を抑えるため、会議資料はプリンターで出力するよう努めている。 (入試関係会議資料は紙ベースで提供することとなっているため) 使用増分は隔年行事の実施や、大学入試センターの実施方法に大きな変更があったことによるもので、それ以外の月では、微減の状態であり、最終的には金額対前年比△16%程度となった。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。

<国際交流課>

区分	取組番号	具体的な取組事項	担当	取組状況('12年3月末現在)	自己評価	評価者の評価及びコメント			
						A	B	C	D
効率化	04-10-01	情報の共有化(報告・連絡・相談の徹底/サイボウズ利用の徹底等)	全課	・週1回課内ミーティングを行い、各係毎のスケジュール・懸案事項等について情報の共有化を図っている。 ・サイボウズへのスケジュール入力を徹底している。 ・業務フォルダーについては、アクセスが制限される各係毎ではなく、課共通フォルダーに業務別フォルダーを作成し、課全員が業務内容を把握できるように情報の共有化を図っている。(取扱留意事項は係別フォルダーを使用) ・メール送信に当たっては、係内等で情報共有するためにCCを利用している。また、機密性を考慮する必要など相手先の状況によりBCCを利用している。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
経費節減	07-10-01	複写機使用料(コピー)の削減	全課	・2UP等の利用はもとより、必要最低限の利用としている。 ・費用対効果を検討し、安価な外注印刷に切り換える等の工夫を行った。 ・平成23年度は、英語版の大学概要を作成せず、必要に応じて公式HP(英語版)を印刷し配布したため、複写機使用料が約21%増となった。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。
その他	09-11-04	日本人学生への海外留学情報の一元化	国際交流課	海外留学情報の窓口を留学生交流係に一元化を図った。また次年度から、留学体験談及び本学留学制度の周知のための留学説明会を実施するとともに海外留学の情報提供の窓口を併せて学内に周知することとした。	Ⅲ	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。	Ⅲ 取組状況を確認した結果、自己評価が妥当であると判断する。